

## 魚類の透明骨格標本を作ろう

(体験・水生生物学 水生生物との出会い, 2004年11月7日)

(東京海洋大学魚類学研究室 河野 博・茂木正人)

### ① ホルマリン固定と水洗



標本をホルマリン（5%あるいは10%）で固定し、さらに水洗します。

### ② 軟骨の染色と中和

軟骨染色液（70ml エタノール+30ml 氷酢酸+アルリアンブルー 20mg）に約半日浸します。これは酸ですので、あまり長期間は浸しません。



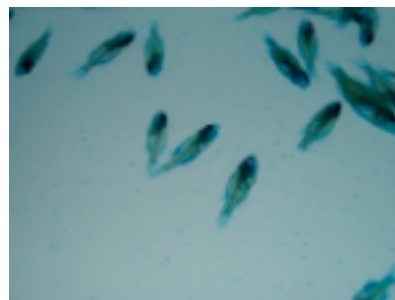
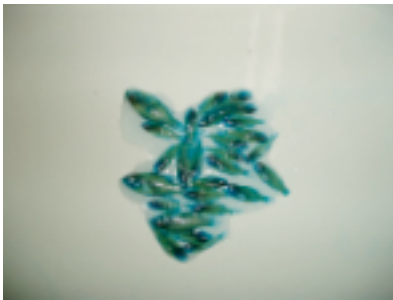
### ③ 中和



飽和ほう砂水溶液に数時間浸して、中和させます。

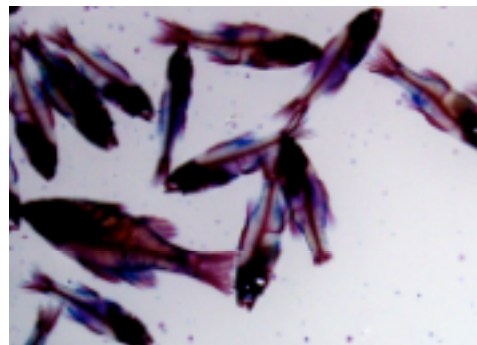
④ トリプシン処理

トリプシン溶液（35ml 飽和ほう砂水溶液+65ml 水+トリプシン適量）に入れます。標本が半透明になるまでです。



⑤ 硬骨の染色

硬骨染色液（5%水酸化カリウム水溶液+アリザリン適量）に約半日入れます。



⑥ 脱染

トリプシン溶液に半日～1日漬け、アリザリンを脱色します。

⑦ 透明化と保存



まず、0.5%水酸化カリウム水溶液に浸し、ほとんど透明にします。その後、0.5%水酸化カリウム水溶液とグリセリンの割合を3:1, 1:1, 1:3として液に移し変え、最終的に100%グリセリンに漬けて保存します。

(完成)